

体育科学習指導案
単元名「タグラグビー」〔学指要領：E ボール運動 第5学年 ア ゴール型〕

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時 体育館
 〇〇市立〇〇小学校 5年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 単元の構想

1 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・タグラグビーの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、フリーの味方にパスを出す、守備者にタグを取られないように得点しやすい場所に移動し、パスを受けてトライをする、ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することを身に付けることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期のソフトバレーボールでは、ボール操作の行い方の知識は身に付いたが、ボールを操作しやすい位置に移動する技能に差が見られた。ゴール型は攻守入り交じったゲーム特性のため、ネット型より展開のスピードが速いことから、非保持者の動き方を身に付けさせたい。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのルールを選んだり、パスやトライをするための動き方を考えたり、自己やチームの特徴に応じてトライをするための作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのボール運動の学習では、技能を伸ばそうと自己や仲間の動きをよく見て、課題を見付け、助言ができる児童はいるが、仲間に自分の考えを伝えることが苦手な児童もいる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・タグラグビーに積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動したり、勝敗を受け入れたら、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの体育の学習では、運動に積極的に取り組み、ルールを守り合おうとしている児童が多く見られるが、消極的に取り組み、仲間の考えや取組を認められなかったりする児童もいる。

2 評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ①タグラグビーの行い方を知り楽しさや喜びを味わえる特性があることを理解している。 ②パスやゲームの行い方、フリーの味方にパスを出したり、守備者にタグを取られないように得点しやすい場所に移動し、パスを受けてトライをしたりする仕方、ボール保持者と守備者の動き方を理解している。 ③フリーの味方にパスを出したり、守備者にタグを取られないように得点しやすい場所に移動し、パスを受けてトライしたり、ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動したりしている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ①誰もが楽しくゲームに参加するためのルールを選ぶことやパスやトライをするために守備者の動きを予想し、ボール保持者と自己の間に守備者が入らない動き方を考え、他者に伝えたり、記述したりしている。 ②自己やチームの特徴に応じて選んだ個人やチームの作戦を他者に伝えたり、記述したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ①ルールを守り助け合って運動したり、場の設定や用具の片付け、キャプテン、分析、はげまし係といった役割分担を果たしたり、場や用具の安全に気を配ったりしようとしている。 ②ゲームの勝敗を受け入れたら、ゲーム中やゲーム後に仲間の考えや取組を認めたりする思いやりの精神を養うとともに、タグラグビーを粘り強く取り組もうとしている。

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全7時間：本時第4時)

※観点別に、評価規準の数字を記載

時	学習活動	知	技	思	主
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方を知り、ためしのゲームで自分の目標を立てる。(あ) (a) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 単元の課題 パスを受け、ボールを運び、トライをする行い方を理解し、トライするための動き方の作戦を立てて、スピード感のあるタグラグビーのゲームの楽しさを味わおう。 </div>	①			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・タグラグビーのルールを理解したうえで、チームで役割分担を果たし、協力してゲームに取り組む。(あ) (b・c) 				①
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール保持の動き方や保持者と守備者の動き方を理解し、ゲームで相手をかかわして得点する。(あ) (b・c) 	②			
4	<ul style="list-style-type: none"> ・チームでトライをするための作戦を知り、仲間に動き方を伝え合い、ゲームでパスをつないで得点を増やす。(あ) (b・c) 			①	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・自己やチームの特徴に応じた作戦を選び、仲間に動き方を伝え合い、ゲームで作戦を試す。(あ) (b・c) 			②	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・トライをするために、自己やチームの特徴に応じてパスの仕方やパスを受ける動き方を高める。(あ) (b・c) 		③		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・自己やチームの特徴に合わせた作戦を生かし、タグラグビー大会 (リーグ戦) を行う。(あ) (b・c) 				②

*活用する学習支援ソフト等：(あ) オリジナル

*活用するコンテンツ等：(a) タグラグビー公式サイト(見本映像) (b) 学習サイトの共有 (c) 動画撮影・再生

4 単元の価値

ラグビーは、攻撃ではパス、走る、トライをするというゲームの単純さ、守備では腰に付けたタグを取るだけのぶつかり合いがない安全さのもと、仲間とボールをつなぎ、得点を積み重ねるという運動の特性がある。またほとんどの児童が経験の少ない新鮮さのある運動で、集団対集団の攻守入り交じったゲームにより、仲間と協力し、スピード感のあるゲームの楽しさや喜びを味わうことができる運動である。本単元では、メインゲームに、3対2という攻撃優位のルールを設定する。そのことにより、ボール保持者の個人技能に加え、守備者の動きを予想し、自己やチームの特性に応じた作戦を選択し、仲間と協力することで、得点を重ねていくことができる。この学習を通して、ラグビーの見方・考え方を学び、「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方について考えることができるようになる。と考える。

II 本時の学習 (4/7)

1 **ねらい** タスクゲームの場面において、チームでトライをするための作戦を知り、仲間と動き方を話し合う活動を通して、メインゲームで、パスをつなぎ、トライをすることができるようにする。

2 展開

【★ICT活用に関する事項】

主な学習活動 予想される児童の反応【S】	主な発問	○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(7分)【★思考の補助】</p> <p>S: 今日の勉強と鬼は、前回習った相手をおかわすスラブやチェンジオブパスを使ってみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて> チームでトライをするための作戦を使い、パスをつないでトライをしよう。</p> </div> <p>S: この作戦をチームで使うと、トライができそう。</p>		<p>○チームブック(オクリク)を活用し、トライをする人の動きの様子の動画を提示し、動き方の課題を問いかけることで、課題を見付けることができるようにする。【★再生、提示】</p> <p>○チームブック(オクリク)を活用し、個人技(カットイン・スラブ・チェンジオブパス)攻撃でうまくいかなかった際に活用できるチームでの作戦方法を提示することで、チームでトライをすることができるようにする。【★提示・配布】</p> <p>○作戦「①クロス」「②ダミークロス」「③飛ばしパス」「④ブラインド攻撃」を提示し、今後、自己やチームの特徴に応じて選択できるようにする。</p>
<p>2 ドリブルゲーム(円陣パス1対1トライゲーム)を行う。(7分)</p> <p>S: パスをするときは、後ろに両手でパスをしよう。膝を使って体全体で優しく素早くパスしよう。</p> <p>S: トライをするために、カットインやスラブなど、自分の得意なかわし方を身に付けよう。</p>		<p>○円陣パスゲームでは、チームで円を作り、円の外側を向き、膝を使って体全体でパスをするように助言する。</p> <p>○1対1トライゲームでは、チームで攻撃・守備者に分かれ、個人技(カットイン・スラブ・チェンジオブパス)を使い、動きの緩急を意識して相手をおかわすように助言する。</p>
<p>3 チームでの作戦を使い、タスクゲーム(3対2セットブレイクゲーム)を行う。(20分)【★思考の補助】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「どのように動くと、作戦が成功しますか。」</p> </div> <p>S: クロス・ダミークロスは二人の息を合わせて同時に動き出すと作戦が成功しそうだね。</p> <p>S: 飛ばしパスは真ん中の人が、もらうふりをする必要があるね。ブラインド攻撃は、3人の息を合わせて素早く動くと成功するかもな。</p>		<p>○3対2セットブレイクゲームでは、チームで攻撃・守備者に分かれ、4つの作戦を1つずつ行うことで、チームで確認し、作戦方法を理解できるようにする。</p> <p>○クロス・ダミークロス作戦は、「2人が交差する際、ボールを隠して動く」、飛ばしパス作戦は、「3人が横一列に並び、真ん中の人が声を出してもらふりをする、パスをする人は、体全体を使い、真ん中の人の前を通してパスをする」、ブラインド攻撃作戦は、「パスをするときと見せかけた側と反対側のサイドにパスをする」ように助言する。</p> <p>○パスを受けるための動き方に迷っている児童には、チームブックを活用し、作戦ボードを提示し、視覚的に助言する。【★作戦ボード提示】</p>
<p>4 メインゲーム(3対2セットアップゲーム)を行う。(7分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「どのように動くと、パスをつなぎトライができますか。」</p> </div> <p>S: クロス作戦は、ボールを持っていない人が、持っている人と重なるように後ろを通ると、うまくパスがつながりそうだね。</p> <p>S: ○○さん、ナイス! 相手がクロスにひっかかっていたよ。ボールをかくしてライナーの隅に走れた所が上手だったよ。</p>		<p>○チームでトライできるように、パスを受ける動き方を助言する。</p> <p>○作戦に合わせた動きやトライをした児童を大きな声で称賛する。</p> <p>○チームブックを活用し、課題となる動きを撮影する。【★撮影】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>◆評価項目(思①)</p> <p>活動の様子から、「作戦に合わせてパスを受ける位置やトライをする位置に移動しているか」を評価する。</p> </div>
<p>5 本時の学習を振り返る。(4分)【★保存・提出】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><まとめ> パスをつないでトライをするためには、チームで作戦に合わせた動きをする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><振り返り></p> <p>S: メインゲームでは、クロス作戦をするために、ボールを持っている人と動きを合わせて、交差することができた。今回は、作戦を生かすために、素早く動けるようにしたい。</p> </div>		<p>○めあてに対する成果と課題を問いかける、自分の考えを学習カードに入力・提出するように促す。</p> <p>○メインゲームでめあてが達成できた児童の動きを紹介し、次時への意欲が高まるように称賛する。</p>